



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 三洋工業株式会社

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長

(氏名) 小宮山 幹生

TEL 03-3685-3451

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,891	△6.5	7	△95.2	50	△72.8	116	△49.7
25年3月期第2四半期	11,651	1.8	147	—	185	—	231	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 159百万円 (△30.1%) 25年3月期第2四半期 228百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.34	—
25年3月期第2四半期	6.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	20,222	11,226	55.5	322.48
25年3月期	22,556	11,490	49.4	320.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,226百万円 25年3月期 11,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	5.8	850	△9.2	900	△10.7	600	△37.9	17.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	35,200,000 株	25年3月期	35,200,000 株
26年3月期2Q	387,045 株	25年3月期	386,310 株
26年3月期2Q	34,813,323 株	25年3月期2Q	34,819,096 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてのその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月～平成25年9月）におけるわが国経済は、新政権による積極的な経済対策や大胆な金融緩和への期待感などから、円安・株高が進み、輸出関連企業を中心に企業収益が改善するなど景気は持ち直しの様相を見せてまいりました。しかし一方で、欧州債務問題の長期化や新興国経済の成長鈍化といった懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、新設住宅着工戸数や民間非居住建築物の着工床面積が底堅く推移するなど、徐々に市場環境に明るさが見えてまいりましたが、足元の状況は未だ実需となって市場に反映されるまでには至っておらず、引き続き厳しい経営環境にありました。

当社グループはこうした状況の中で、平成25年度を初年度とする『新中期3ヵ年経営計画』に沿って、既存重点製品の収益確保を図りながら、今後成長性が期待される製品の拡販並びに開発に注力すると共に、内製化の推進とコスト競争力の強化にグループ全社を挙げて取り組んでまいりました。これにより、一部の省エネ関連製品が売上を拡大させているほか、その他の製品についても持ち直しの傾向が見え始めてまいりました。しかしながら、慢性化するデフレ環境に加え、期初において工事物件等の動き出しが鈍かったことなども重なり、現時点においては厳しい状況で推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高10,891百万円（前年同期比6.5%減）となり、利益面では、営業利益7百万円（前年同期比95.2%減）、経常利益50百万円（前年同期比72.8%減）、四半期純利益116百万円（前年同期比49.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用の製品が新設住宅着工戸数の底堅い動きに伴い好調に推移しましたが、主軸製品であるビルや商業施設向けの製品については、安値受注による消耗戦を背景に依然として苦戦を強いられるなど、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

床システムにつきましては、環境配慮型製品である分別リサイクル可能なスチール製OAフロア等が病院・福祉施設、工場・倉庫、学校施設等の新築及び改修工事に広く採用されましたが、主力製品である鋼製床下地材製品やデッキフロア等については、季節的な要因も相まって受注量が落ち込み、床システム全体の売上高は低調に推移いたしました。

アルミ建材につきましては、耐震関連製品であるエキスパンション・ジョイントカバーが、震災復旧に伴う需要縮小により受注量が減少したほか、主力製品であるアルミ笠木についても、ほぼ横ばいで推移したことなどから、アルミ建材全体の売上高は低迷いたしました。

この結果、売上高は8,924百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント損失は12百万円（前年同期セグメント利益81百万円）となりました。

## ②システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力取扱い製品である床関連製品を中心に積極的な設計指定活動を通じて受注獲得に努めてきましたが、一部地域において物件の動き出しが緩慢であったことにより、システム会社全体の売上高は2,184百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失は13百万円（前年同期セグメント利益31百万円）となりました。

## ③その他

その他につきましては、売上高355百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比84.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,333百万円減少し、20,222百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,069百万円減少し、8,996百万円となりました。

純資産は、主に少数株主持分が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、264百万円減少し、純資産合計は11,226百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,840百万円となり、前連結会計年度末に比べて326百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,056百万円（前年同期は1,156百万円の獲得）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益122百万円、賞与引当金の減少額289百万円、売上債権の減少額3,489百万円、たな卸資産の増加額709百万円、仕入債務の減少額1,519百万円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は511百万円（前年同期は75百万円の獲得）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出303百万円、少数株主からの株式取得による支出254百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は217百万円（前年同期は27百万円の使用）となりました。

これは、主に短期借入金の純返済額274百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成25年4月1日から平成26年3月31日）の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,865	3,091
受取手形及び売掛金	10,328	6,853
有価証券	728	828
商品及び製品	1,712	2,438
仕掛品	100	94
原材料及び貯蔵品	673	663
繰延税金資産	236	253
その他	45	47
貸倒引当金	△144	△132
流動資産合計	16,547	14,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,780	1,757
機械装置及び運搬具（純額）	488	496
土地	2,360	2,340
その他（純額）	143	186
有形固定資産合計	4,773	4,781
無形固定資産	104	107
投資その他の資産		
投資有価証券	432	517
繰延税金資産	6	6
その他	832	800
貸倒引当金	△140	△129
投資その他の資産合計	1,130	1,195
固定資産合計	6,008	6,084
資産合計	22,556	20,222

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,808	5,288
短期借入金	433	169
未払法人税等	230	48
賞与引当金	463	173
役員賞与引当金	22	11
その他	1,171	1,280
流動負債合計	9,130	6,972
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	300	339
繰延税金負債	54	86
退職給付引当金	1,200	1,122
その他	380	375
固定負債合計	1,935	2,023
負債合計	11,065	8,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	8,220	8,250
自己株式	△107	△107
株主資本合計	11,042	11,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	155
その他の包括利益累計額合計	101	155
少数株主持分	346	—
純資産合計	11,490	11,226
負債純資産合計	22,556	20,222



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	11,651	10,891
売上原価	8,718	8,004
売上総利益	2,933	2,886
販売費及び一般管理費	2,785	2,879
営業利益	147	7
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	4	5
受取賃貸料	62	64
その他	20	17
営業外収益合計	91	89
営業外費用		
支払利息	10	7
不動産賃貸費用	41	26
その他	2	11
営業外費用合計	54	45
経常利益	185	50
特別利益		
固定資産売却益	128	43
負ののれん発生益	—	80
特別利益合計	128	123
特別損失		
固定資産除却損	5	35
減損損失	—	15
特別損失合計	5	51
税金等調整前四半期純利益	307	122
法人税等	74	16
少数株主損益調整前四半期純利益	233	105
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	2	△10
四半期純利益	231	116

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233	105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	53
その他の包括利益合計	△4	53
四半期包括利益	228	159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	169
少数株主に係る四半期包括利益	2	△10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	307	122
減価償却費	160	177
減損損失	—	15
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45	△77
賞与引当金の増減額(△は減少)	△192	△289
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△22
受取利息及び受取配当金	△8	△6
支払利息	10	7
固定資産売却損益(△は益)	△128	△43
固定資産除却損	5	35
売上債権の増減額(△は増加)	3,874	3,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△345	△709
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,279	△1,519
未払消費税等の増減額(△は減少)	△97	△66
負ののれん発生益	—	△80
その他	97	244
小計	1,313	1,266
利息及び配当金の受取額	8	6
利息の支払額	△11	△6
法人税等の支払額	△153	△210
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,156	1,056
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△76	△303
有形固定資産の売却による収入	160	47
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	2	2
少数株主からの株式取得による支出	—	△254
その他の支出	△10	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	75	△511
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	800	645
短期借入金の返済による支出	△725	△919
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△9	△0
社債の発行による収入	—	98
配当金の支払額	△87	△86
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27	△217
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,204	326
現金及び現金同等物の期首残高	2,635	3,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,840	3,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。